# ep13

**说话人1** *00:38*: あんたのことを心配して。

**说话人1** *00:38*: 说话人2 00:39 咲世子。

**说话人1** *00:38*: 说话人1 00:41 余計なことをするな。これは警告だ。立花の邪魔をするな。松原さん。待ってくれ。関係ない！俺は俺の道を行くだけだ。とりあえずだけはあいつに渡すわけにはいかない。あいつはもう1人のライダーを作ろうとしている。どうして橘さんを？あんな奴の言いなりに目を覚ましてくれ。橘さん、分かってください。橘さん。あのアンデッドは渡すわけにいかないんだ。あいつ。なんだあれ？おい。

**说话人1** *00:38*: 说话人2 04:13 何やってんだよ？目つき。

**说话人1** *00:38*: 说话人1 04:19 パスパス。はい。するとけすなーも。なにさん、そのもって。

**说话人1** *00:38*: 说话人2 04:33 立花君が使ってるらしい。水生植物なの？ドイツの古代生物学の博士が発見した。その植物の成分が皮膚から体内に染み込み、中枢神経も激しく刺激する。それで立花さんは変わったんだ。ロードのデータにもあったわ。古代生物たちはその生存をかけた激しい戦いの中、その植物の生えている湖で闘争心を高めたと推測される。でもね、それは1時的なものなの。成分が強すぎて、やがては細胞や神経荒らされる。

**说话人1** *00:38*: 说话人1 05:35 まさにその植物使うやめさせないと。でもどうやって止めるのさ。立花さんはその植物のおかげで復活したと言ったら信用しきってるだろうし、頼りきってるだろうし。それじゃあ、僕たちも何か分かったら連絡します。

**说话人1** *00:38*: 说话人2 05:57 絶対に方法があると思うの。急がないと。

**说话人1** *00:38*: 说话人1 06:02 嫌なことをするなら、これだけ行くまで。

**说话人1** *00:38*: 说话人2 06:06 どうしました？ううんとにかく私も彼に会ったら必ず説得するし。あなた達も力を貸して。

**说话人1** *00:38*: 说话人1 06:17 お願い。あー俺もあんなふうに愛されたいよ。

**说话人1** *00:38*: 说话人2 06:31 誰かに私の顔見んの。冗談をやめてね。ちょ。

**说话人1** *00:38*: 说话人1 06:40 ね、あの言い方ちょっと冷たくない？大丈夫だよ。小太郎のことは世界中の牛乳がしくれてるよ。なんだよ？これ。カテゴリです。反応が違う。別なんでくる？別の。え？何が？アンデッドが人間を1人さらって逃げたらしい。なんか変だろう。アンデッドが人間を殺さないで払うなんて。そういえば、この何日間に十代から20代の男性が何人か消えてる。インターネットで怪物に誘拐されたって目撃情報もあったけど。

**说话人1** *00:38*: 说话人2 08:20 そうか。

**说话人1** *00:38*: 说话人1 08:21 本当にアンデッドの仕業だったんだ。でも、何の目的ではじめを見つけた。また電話する。

**说话人1** *00:38*: 说话人2 08:32 剣崎君どうした？ 说话人1 08:36 なんだって？初めを見つけたって。まさかその誘拐事件にもあいつが絡んでるんじゃ。いや、ありえるな。きっとそうだ。まさかお前じゃないだろうな。アンデッドに人をさらわせたのは。待てよ。聞かれたことに答えろ。俺の体に触るな。奴を止めないと恐ろしいことが起きる。井坂が適合者を探し、適合者カテゴリーエースの最後のカテゴリーエース。雲なんでた無数のこはきです。こいつは風に乗り、適合する資質質を持ってる人間にくっつくなんだよ。蓮華。何やってんの？俺こんなところで。じゃあ、その黄色の雲を追って、御坂のあいつのアンデッドは関係ない。せいぜい頑張るんだ。あ、やるさ。俺は人間を守る。アンデッドの好きにはさせない。葵ちゃんや遥さんも、俺はこの手で守ってやる。

**说话人1** *00:38*: 说话人2 10:51 はい。剣崎君、さっきのアンデッドよ。ここから近い北北東2キロ。

**说话人1** *00:38*: 说话人1 10:56 なんで俺を追っかけてくるんだよ。大丈夫。怪我はない。大丈夫です。よかった。これでも君を触れないはずだ。じゃなください。ありがとうございます。あの、あなたはやんないか？ブレイドの適合者を集めるために使っているなんて邪魔を三つ目、それで集めたカテゴリーエースの適合者のようだ。新システムで想定されるレベルに耐えられるのか？まだいません。使えない。奴らは記憶を抹消して放り出せ。分かりました。最強のアンデッドに適合する人間などいないのか？ 说话人2 13:53 雲の子供、それを恨んでた。

**说话人1** *00:38*: 说话人1 13:55 カテゴリーエース相川はじめかだけど、初めのやつは俺には関係ないって。よせよ。あんなやつに何か期待するのは。あいつはアンデッドなんだ。人を襲ってるやつと同じなんだよ。でも、あいつ感じがここにいた時以上に厳しいっていうか。

**说话人1** *00:38*: 说话人2 14:19 天音ちゃんがこっち見てるわ。誰の話してるの？いやいや。始めるわよ。みんな、ありがとう。

**说话人1** *00:38*: 说话人1 14:33 ごめんな。俺だけこんな格好で。この2人、何も言ってくんないから言った。そう。君が忘れてただけ。はい。おじさんからのプレゼント。

**说话人1** *00:38*: 说话人2 14:45 ありがとう。これは私から。ありがとう。

**说话人1** *00:38*: 说话人1 14:49 これはこれで。うん、 说话人2 14:56 ありがとう、慶之樹さん。じゃあ、マネ、蝋燭つけるわよ。じゃあ、願い事を込めて。

**说话人1** *00:38*: 说话人1 15:27 はい。どうぞ。

**说话人1** *00:38*: 说话人2 15:28 ありがとう。

**说话人1** *00:38*: 说话人1 15:40 で、何お願いしたの？ 说话人2 15:42 はじめさんが早く戻ってきますようにって。天音、大丈夫よ。心配ない。なんだかすぐ近くにいて、私を見守ってくれてるような気がするの。

**说话人1** *00:38*: 说话人1 15:57 も。

**说话人1** *00:38*: 说话人2 15:58 うすぐ戻ってきてくれる？そんな気がしてるんだ。

**说话人1** *00:38*: 说话人1 16:39 あ、まりちゃんや遥さんも、俺はこの手で守ってやる。俺には関係ない。俺は俺の理由で戦うカテゴリーエースがあるんだ。今度こそお前の力を見せろ。分かった。バテゴリ。

**说话人1** *00:38*: 说话人2 17:20 ーエースよ。

**说话人1** *00:38*: 说话人1 17:33 分かった。俺が封印してやる。

**说话人1** *00:38*: 说话人2 17:35 いっぱい現れたわ。町中、住宅密集地。こういう病院まで。

**说话人1** *00:38*: 说话人1 17:46 体は二つないんだ。1体どうしろって。

**说话人1** *00:38*: 说话人2 17:48 カテゴリーエースは人里離れて山の中よ。それより目の前で傷つけられようとしてる人。

**说话人1** *00:38*: 说话人1 17:55 そう、人間を守る。分かってるって。お前たちにかき氷へその他さ、奴を封印するのは俺だ。何？変身、お前、カテゴリーイエス、あんたの言ってた彼氏ってやつが俺の邪魔をしてる。何？お前か、今度は逃がさない。出さないと言っただろう。うん、ここがお前の死に場所だ。覚悟しておけ、ギャレンカテゴリーズを見失った。でも、別の安全とか二台。

**说话人1** *00:38*: 说话人2 21:05 で橘さんが叩く原石。

**说话人1** *00:38*: 说话人1 21:08 急いで。分かった。最強だ。カテゴリーエースだ。いけたちはな、うん、ついに行きたいたか、そんなふうに生きたいの。ごめん、生き方が違ってしまったんだ。君とはもう一緒に来られない。。